



# つながり

自ら動き、感じ、楽しむ ～笑顔あふれる幼稚園～  
～やさしく かしこく たくましく～

第 12 号

R5. 3. 15

山口大学教育学部附属幼稚園

さくらんぼの花[花庭]

おめでとう ～大きくなりました～

副園長 大森 洋子

星組さん、ご卒業おめでとうございます。花組さん、風組さん、今年度の修了おめでとうございます。

園児 83 名全員が、心も体も大きく、たくましく成長して今年度を終わられますことをとてもうれしく思います。これも皆、保護者の皆様の多岐にわたるご理解とご協力の賜物です。深く感謝申し上げます。

令和 4 年度もコロナ禍の生活とはなりましたが、行事などを少しずつ開くこともできました。また、制限のある生活の中でも、子どもたちは知恵を出し合い、工夫して、しっかり遊びしっかりかかわって、「やさしく・かしこく・たくましく」成長してくれました。本当に素晴らしいです。

どんな時代であっても、子どもたちには“可能性”がいっぱいだと感じます。また、“自ら伸びる力”を大切に、信じたいとも思います。笑顔で、元気に頑張った子どもたち・・・いつか振り返ったときに、子どもたちにとっての令和 4 年度が、「コロナ禍ではあったけれど楽しかった年」であつたらいいなと思います。いろいろご迷惑をおかけしましたが、状況を理解し、寛容に受け止めて下さった保護者の皆様には、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



星組：1の1の「算数」の見学。「形作り」の体験もさせていただきました。1の2の「体育」の授業も見学しました。



星組：3年生が「お店屋さん」（3の1）と「椅子取りゲーム」（3の2）に招いてくれました。「総合的な学習の時間」の授業で、「いろいろな人を楽しませよう」というねらいのもと、工夫を凝らしたやさしい対応をしてくれました。3年生との交流は、年の近い1、2年生との交流とも、大きく年の離れた5、6年生のお兄さんお姉さんとの交流とも違った、ちょうどいい距離感のかかわりのように感じました。

大庭のアスレチックの改修（柵の設置等）が終わり、8日より使用を再開しました。ゴムチップ加工をしたり、砂を入れたりもしています。年度末になりましたが、数日でも使用することができ安堵しています。ご迷惑をおかけしました。

3日には、幼児教育の先生に、安全な保育という視点で保育を見ていただきました。職員ミーティングでの「ヒヤリハット」の共有や毎月の安全点検、チェックリストの実施等も続けています。安心・安全な保育ができるよう努めます。





**お別れ会 (3/10)** : 全園児が集まって星組さんとお別れ会を行いました。風組さんは、何日もかけて準備していて、前日にはとても素敵に遊戯室を飾り付けてくれました。また、「はじめのことば」や「終わりのことば」も自分たちで言い、「自分たちでお別れ会を開くんだ」という気持ちで溢れていました。プレゼント渡しでは、風組さんも花組さんも一生懸命作ったプレゼントを感謝の気持ちを込めて星組のお兄さんお姉さんに渡し、星組さんとても喜んでいました。

小さな子どもたちでも、お別れの意味は分かるし、ありがたい気持ちもしっかりもっています。そして、その気持ちは相手にちゃんと伝わります。「大好きな、やさしかった星組さん」として小さい組の子どもたちの心に刻まれ、感謝したり感謝してもらったりして、幸せな気持ちでいっぱいになった、素敵のひとつときでした。



花組と風組の「はないちもんめ」…さら粉をあげたりもらったりしているうちにぐんと仲良くなりました。

「ふぞく はくぶつ ラキューてん」…星組さんが「ラキュー (玩具名)」でたくさんの作品を作ったので、花組さんや風組さんをお呼びして見せてくれました。花組さんや風組さんは興味津々に見ている、星組さんは得意そうに説明してくれました。3月らしいかわりでした。



「いっしょでたのしいね」(花組)

ごちそうづくり (風組)

くぼみを埋めるのを手伝ってくれました (星組)

素敵な花が咲きますように：植物を育てていると、子育てによく似ているなあと思うことがあります。何より土台となる「根」がしっかりしている必要がありますが、この根っこに当たる部分は「自己肯定感」といえるでしょうか？ 自分がかげがえのない存在として認められているという感覚が大切なのだと思います。まずは、「根」をしっかり育てたいですね。「根 (自己肯定感)」が育つには、肥沃な「土」が必要です。「土」は、家庭環境や園環境といったところでしょうか。また、肥沃な「土作り」には「栄養」が必要ですが、肥料に当たる部分が「愛情」なのだと思います。多すぎず少なすぎず、ちょうどいい塩梅で大人が肥料をあげることでよい栄養となり、「根」がしっかり張るのでしょう。

水や日光は、「友達」だったり、子ども自身の「体験」だったりするのも知れませんが、たくさんの人や物、できごとのかかわりが、成長を大きく促していくのでしょう。また、大人の力も必要ですが、子ども自身にも水や栄養を吸収する力やお日様の方に伸びていく力があります。たくましさやしなやかさ、生命力も大切にしたいものです。

この一年、私たちは保護者の皆様と共に、一生懸命子どもたちに愛情を注いで参りました。そして、子どもたちは、いろいろな経験を通してよく遊び、よく学び、本当に大きくなってくれました。至らない点多々あったと思いますが、これからもずっと愛情を注ぎ続けて、しっかりと根の張った素敵な花が咲くように支えていきたいと思っています。

一年間、「つながり」にお付き合いいただきありがとうございました。コロナ禍で園生活の様子を皆様にご覧いただけない部分を、少しでもお便りで補うことができれば…という思いでしたが、あまり発行できず申し訳ありません。お世話になりました。